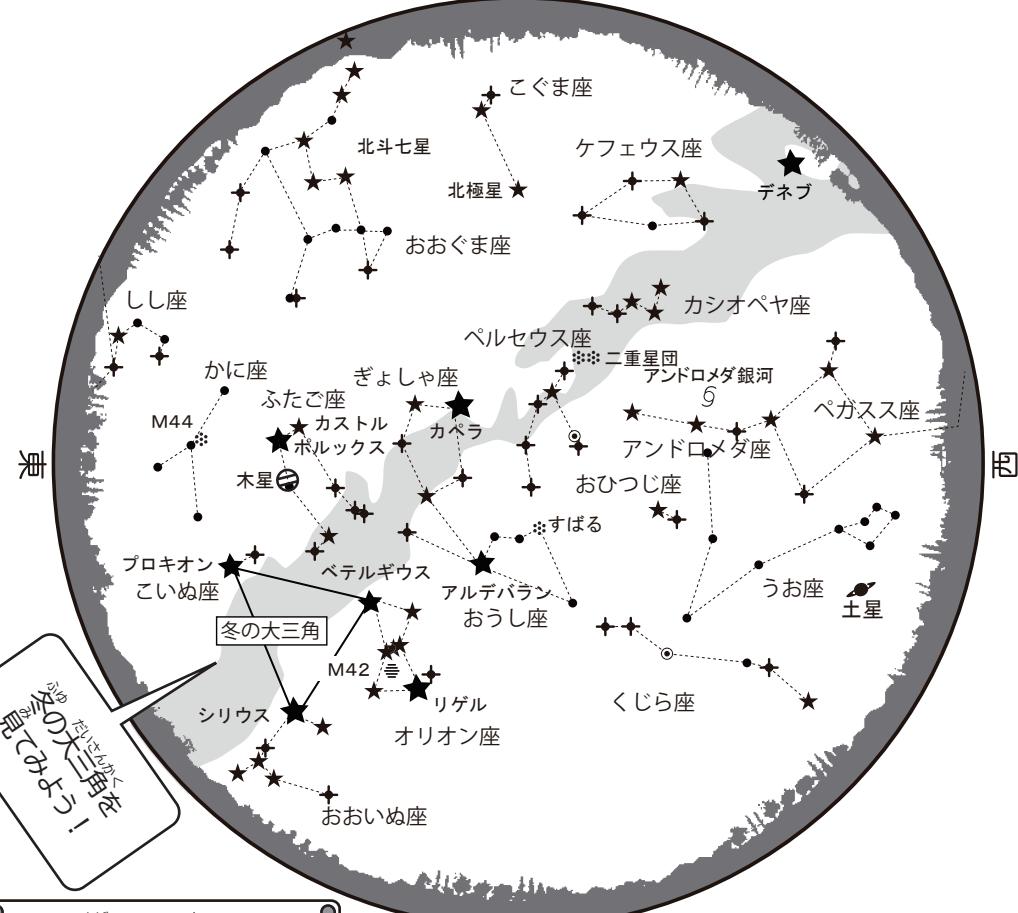


星空だより

2026年1月
No. 182
富山市科学博物館

北 1月中旬 午後8時ごろの星空



今月のお月さま～	
1月 3日	満月
1月 11日	下弦
1月 19日	新月
1月 26日	上弦



双眼鏡で見てみよう

冬の星空には「プレアデス星団(すばる)」や「オリオン大星雲(だいせいうん)」など、双眼鏡で手軽に楽しむことのできる天体が色々あります。

科学博物館の星空観察会

でも、双眼鏡で見ることが出来る天体を紹介していますので、暖かい服装をして参加してみてください。

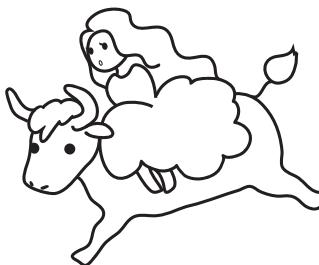


プレアデス星団(すばる)
(100個ぐらいの星の集まり)



オリオン大星雲
(中央のぼんやりしたもの)

黄道十二星座紹介 ☆ おうし座 ☆



おうし座は、ギリシャ神話に出てくる大神ゼウスがフェニキアの王女エウローペに近づくために変身した姿といわれています。エウローペとゼウスが共に海を渡り、たどり着いた場所は、ヨーロッパと呼ばれるようになったといわれています。

※黄道十二星座って？

太陽の通り道(黄道)に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。



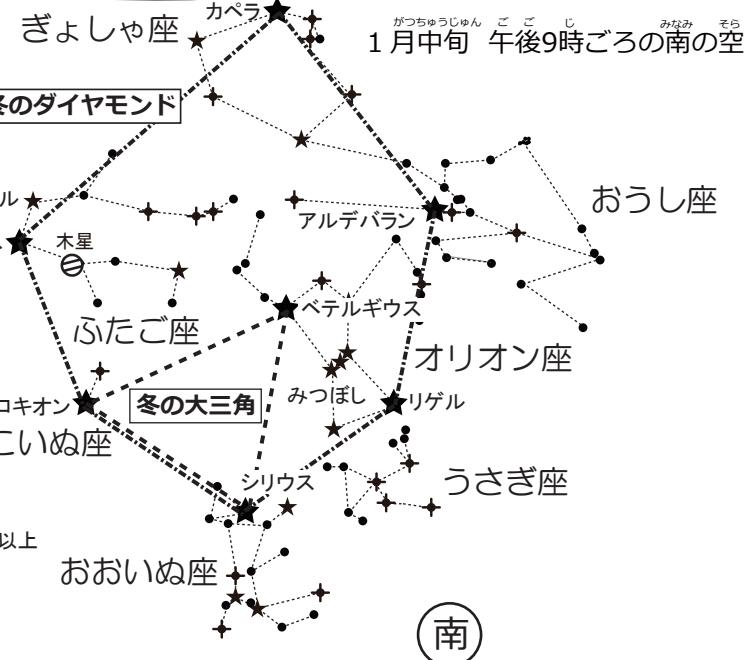
ほしざらかんさつき
星空観察会

第2・第4土曜日の夜に開催。
詳しくはウェブサイトをご覧ください。



今月の さがしてみよう

冬の星座たち

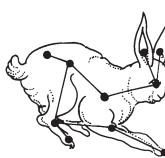


- リボンのような形のオリオン座を見つけます。
- オリオン座の真ん中の3つ並んだ星（みつぼし）を下にのばして、明るく輝くシリウスを見つけます。
- オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンで作る「冬の大三角」を見つけます。
- オリオン座のみつぼしを上にのばして、おうし座のアルデバランを見つけます。
- アルデバランの北側にあるカペラと、五角形に並んだぎょしゃ座を見つけます。
- ぎょしゃ座の左下に、今年は明るく輝く「木星」があります。そばにふたご座の2つ並んだ明るい星、カストルとポルックスを見つけます。
- シリウス、プロキオン、ポルックス、カペラ、アルデバラン、リゲルをつないでできる大きな六角形が「冬のダイヤモンド」です。

今月のオススメ星座！

オリオン座

リボンのような形をした星の並びがオリオン座です。右肩の赤くて明るい星はベテルギウス、左足のやや青みがかった明るい星がリゲルです。またこの星座には、オリオン大星雲（M42）と呼ばれる星雲があります。



うさぎ座

オリオン座の足元にある星座です。うまく星をつなぐと、長い耳やしっぽ、前足などをたどることができます。このうさぎは、狩人オリオンの獲物として作られた星座だという説があります。

天文コラム

一等星が月に隠される！

1月6日から7日にかけての夜、しし座の一等星「レグルス」が月に隠される「レグルス食」があります。

このように月が星を隠す現象を「星食」といいます。星食が起こる一等星は、しし座の「レグルス」、おとめ座の「スピカ」、さそり座の「アンタレス」、おうし座の「アルデバラン」の4つしかありません。今後10年間に起こる一等星の星食は、右の表のとおりです。数年ごとにしか見られないめずらしい現象ですから、晴れていたらぜひ観察してみましょう。

一等星の名前	起こる日	月が隠される時間帯
レグルス	2026年1月7日	1時12分～2時14分
レグルス	2026年3月2日	20時26分～21時30分
スピカ	2032年4月25日	2時43分～3時45分
スピカ	2032年6月18日	19時13分～20時34分
アルデバラン	2034年7月13日	2時27分～3時17分
アルデバラン	2035年2月16日	21時55分～22時55分
アルデバラン	2035年5月9日	18時55分～19時47分
アルデバラン	2035年11月17日	3時23分～4時13分
アルデバラン	2036年1月11日	1時43分～2時42分